都立国際高校　年間授業計画／Tokyo Metropolitan Kokusai High School　Course Syllabus

○ 科目基礎情報 (Course information)

開講年度　(　Academic year　)	令和7年度 (2025 年度)
開講学科　(　Department　)	国際学科国際バカロレアコース／IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科　(　Subject Area　)	IBDP Studies in language and literature
科目　(　Subject　)	Japanese A: literature HL
学年･クラス　(　Grade･Class　)	DP1（2年生）
単位数　(　Number of units　)	6
使用教科書　(　Text Books　)	カズオ・イシグロ『日の名残り』（ハヤカワepi文庫）、吉本ばなな『キッチン』（角川文庫）、チヌア・アチェベ『崩れゆく絆』（光文社文庫）、フィリップ．K．ディック『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』（ハヤカワ文庫）、ヘンリク・イプセン『人形の家』（岩波文庫）、有吉佐和子『華岡青洲の妻』（新潮文庫）、夏目漱石『こころ』（角川文庫）、谷川俊太郎『谷川俊太郎詩集』（集英社文庫）、ジョージ・オーウェル『動物農場』（ハヤカワepi文庫）、ヤマザキマリ『望遠ニッポン見聞録』（幻冬舎文庫）
校外学習　(　Field trip　)	予定なし。

○ 教科の目標 (Goals of the subject area)

【知　識　及　び　技　能】 (Knowledge and Skills)

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

○ 科目の目標 (Goals of the subject)

【知識及び技能】 (Knowledge and Skills)	【思考力、判断力、表現力等】 (Ability to think, make judgements, express themselves)	【学びに向かう力、人間性等】 (Motivation to learn, Humanity)
○さまざまな媒体や形式、異なる時代、スタイル（文体）、文化からの多様なテクストに触れる。 ○テクストのフォーマルで美的な性質への感性を磨き、またそれらがどう多様な応答や複数の意味をもたらすのかを鑑賞できるようになる。	○話す、読む、書く、見る、発表する、およびパフォーマンスのスキルを伸ばす。 ○解釈や分析、評価のスキルを伸ばす。 ○テクストと多様なものの見方、文化的文脈、地域とグローバルな問題との関わりについて理解を深め、またそれらがどう多様な応答や複数の意味をもたらすのかを鑑賞できるようになる。	○「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ○自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ○言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。

○ 授業計画 (Course schedule)

Alotted hours

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・聞	書	読	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
	単元名：**読者、作者、テクスト①** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・詩の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：詩の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 ・教材：**谷川俊太郎『谷川俊太郎詩集』** ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	28
	単元名：**読者、作者、テクスト②** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。	・指導事項：戯曲の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 ・教材：**イプセン『人形の家』**				❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。				

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・聞	書	読	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
1学期（1st semester)	・戯曲の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	28
	単元名：**読者、作者、テクスト③** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・小説の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：小説の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 ・教材：**有吉佐和子『華岡青洲の妻』** ・教材：**吉本ばなな『キッチン』** ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	28
	単元名：**時間と空間①** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・伝記物語の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：近世文学の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 個人口述準備 ・教材：**夏目漱石『こころ』** ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	32

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域			評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
			話・聞	書	読					
2学期 (2nd semester)	単元名：**時間と空間②** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・小説の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：近現代小説の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 ・教材：**カズオ・イシグロ『日の名残り』** ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	32
	単元名：**時間と空間③** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・寓話の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：寓話の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 ・教材：**ジョージ・オーウェル『動物農場』** ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	32
	単元名：**テクスト間相互関連性ーテクストをつなげる①** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・小説の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：テクスト間のつながり 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 個人口述準備 **・教材：チヌア・アチェベ『崩れゆく絆』** ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	27

	単元の具体的な指導目標 Unit Objectives	指導項目・内容 Topic / Contents	領域 話・聞	 書	 読	評価規準 Evaluation Criteria	知 ❶	思 ❷	態 ❸	配当 時数
3学期 (3rd semester)	単元名：**テクスト間相互関連性ーテクストをつなげる②** 【知識及び技能】 ・作品の意味と含意、そのテクストが書かれた文脈と受けとられる文脈について理解する。 ・現代小説の特徴について理解する。 ・文学的、文体的、修辞的、視覚的効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言語の使い方がどう意味を生成するか、分析する。 ・明確で論理的、説得力のある方法で考えを表現する。 ・さまざまなスタイルや言語使用域（レジスター）を用い、多様な目的と状況に応じて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「言語と文学」と他の教科の関係性への理解を深める。 ・自信をもち、創造的な方法でコミュニケーションをとり、協働する。 ・言語と文学に対して、生涯にわたって関心と喜びをもつように促す。	・指導事項：現代小説の構成要素 概念とグローバルな文脈 文学批評の基礎 個人口述準備 ・教材：フィリップ. K. ディック『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』 ・Google Slideの活用 ・クラスディスカッションによる思考の深化と共有 ・学習ポートフォリオの活用	○	○	○	❶【知識・技能】 ・テクストに対する理解を示し、テクストに含意される意味から筋道の通った結論を導き出せているか。 ・テクストを参照し、考えを裏づけているか。 ❷【思考・判断・表現】 ・テクストの特徴や作者の選択がどのように意味を形成するかについて、分析、評価できているか。 ・考えの提示の仕方に構成と一貫性があるか。またどこまで焦点を絞っているか。 ・言葉遣いは明確かつ多様で、正確か。 ・言語使用域とスタイルの選択は適切か。 ❸【主体的に学習に取り組む態度】 ・明確な期限を決め、目的をもった方法で自らの学びを管理できているか。 ・成長を支え、時間管理を可能にし、真の意味での振り返りを可能にする作業計画や学習計画を立てることができているか。 ・ノートの取り方やマーキングの入れ方、さまざまな整理用デジタルツールの使用などの学習テクニックに着目すると共に、自己管理や学問的整理能力について自分なりのアプローチを身につけられているか。 ・規準に対する進捗状態を自己評価し、言語と文学への関心や楽しみを見つけることができているか。	○	○	○	27

総授業時数 Total hours	234